

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第3回 栃木東部地域会議
開催日時	平成30年6月28日 開会19時00分 閉会20時00分
開催場所	栃木市大宮公民館 大交流室
出席委員氏名	荒川 直巳、石川 克法、大橋 哲夫、荻島 哲、柏崎 桂二、柏崎 章吉、 神田 誠司、藺田 弘子、竹澤 克元、内藤 實、中澤 健次、藤本 紀子
欠席委員氏名	石崎 久郎、大山 恵久、神戸 透、田邊 勇輝
事務局職員職氏名	栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長 中嶋 美佐、 大宮公民館長 大橋 勝造、国府公民館主査 毛塚 隆
その他出席者等	
会議事項	・平成31年度実施予定の地域予算提案事業について
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者・議題・発言内容・決定事項	
1 開会	司会：中嶋 センター所長
2 あいさつ	荻島 会長
3 議事	
議 長	・本日の出席委員数について、事務局から報告願う。
センター	・栃木東部地域会議の委員総数は16名のところ、本日の出席委員は12名である。 なお、大山委員、神戸委員からは所用のため欠席との連絡をいただいている。
議 長	・全委員の過半数の出席であるため、本日の会議は成立している。
(1) 平成31年度実施予定の地域予算提案事業について	
議 長	・センターから説明願う。
所 長	・(平成27年度からの提案事業の実績と、今年度の話し合いの経過を口頭で説明)
議 長	・皆さんで案を出し合って協議したい。
委 員	・前回の会議では、大宮地区と国府地区それぞれで考えた提案を今日出し合うことになったのではないかと。
議 長	・国府地区からの提案はいかがか。
委 員	・国府地区からは無い。
委 員	・大宮地区については、配付した丸沼・長瀨公園の資料は平成9年から11年にかけて出来たもので、当時は揚水していたが、今から10年以上は揚水していない。以前話が出たトイレの設置は、提案限度額の306万円では難しいので、傷んで通行止めになっている木製の橋を修繕することや、電気料を払って揚水することを内容

とする「丸沼・長瀬公園整備事業」を大宮地区としては提案したい。

- ・竣工した当時、揚水するのに年間300万円かかった。この公園は公園緑地課が主管だが、実際は近辺の4つの自治会（大宮第4、今泉町、大宮大日、大日）で年間12万円の補助を受けて管理している。この12万円に電気料は入っていないから、揚水できない。
- 委員 ・各種団体や管理している4自治会の声を取り入れて公園としてのイメージを作っていきたい。
- 委員 ・今回、揚水にかかる電気料の負担になる。306万円の範囲で水を流して整備していきたい。
- 委員 ・最低でも手を洗うところは欲しい。
- 委員 ・予算に限りがあるので、全部一遍にという訳にはいかない。
- センター ・手を洗うところはある、と公園緑地課に聞いた。
- 委員 ・新しく作ってもらった。
- 委員 ・手を洗うところは出来たが、石垣が崩れるなどして公園であって公園でないような状況なので、地域予算を使わせていただきたい。
- 委員 ・水が流れて初めて親水公園として機能する。今は電気で揚水しないと水が流れない。水が流れてなく、ゴツゴツした石があるのが見えるだけになっている。大宮地区で一番お金をかけたもったいない公園になってしまったので、何とか復活させたい。
- 委員 ・もともと市でポンプ代（揚水の電気料）を負担していたのか。
- 委員 ・そのとおり。
- 委員 ・市が負担していた年間350万円の電気料は0になったのか。
- 委員 ・今は4自治会で管理している。
- 委員 ・それは公園の清掃に対する報償費としての12万円なのだろう。
- 委員 ・管理する自治会のお茶代程度のものだ。揚水の電気料は市の財政上の事情で止められた。
- 委員 ・300万円かけて整備したとしても、市から揚水の維持費が出ないとしたらどうするのか。
- 委員 ・揚水に限った話ではない。300万円の範囲内でやれることをやる。
- 委員 ・やれることと言うのは親水公園として復活させることではないのか。
- 委員 ・もちろんそうだが、揚水するのにどのくらい費用がかかるのか。市がいくらか負担してくれるか。その金額次第では揚水を諦めなければならないこともあり得る。その時は、300万円の範囲で崩れた石を積み直すとか、壊れた橋を直すとか、できることをやりたい。皆さんの了承をいただければ、その次の年度もこの公園の整備に地域予算をあてることも考えたい。
- 委員 ・市の350万円の負担が0になった。その半分に規模でやるとしても170万円くらいかかる。その予算が無いと親水公園として復活できないのではないのか。
- 委員 ・揚水については今後、大宮地区の方で市に交渉する。
- 委員 ・橋が直っても水が出ていないから人が来ないとか、実効性がないとつまらない。夕方だけでも水を流すようにすれば、夕方に散歩しましょうとか呼びかけができるようになる。
- 委員 ・予算の足りない分は、大宮地区から市へ交渉に行く。この公園整備に決まれば、大

- 宮地区の自治会連合会やまちづくり協議会などでもその金策について考えていく。
- 委員 ・最低何時間揚水すれば親水公園としてのレベルを保てるのか。例えば毎日3時間ずつ揚水すれば生きた水の状態になるのであれば、予算内でできる可能性はある。
- 委員 ・今後いろいろな予算の制約が出てくると思うが、いずれにしても今のままでは公園としての魅力がないから、市と交渉したり、大宮地区で資金をどうするか話し合ったりしていきたい。
- 委員 ・揚水の電気料を市で負担してもらえるかどうかを早急に聞いてもらいたい。
- 委員 ・管理している自治会としては、少しずつでもきれいにしていきたい。
- 委員 ・子どもたちがこの公園で遊んだり、待ち合わせをしたりすると聞く。集まる場所になっていても、子どもたちは水が無い中でどうやって遊んでいるのか。水が流れることで、子どもたちが行きにくくなるのか。
- 委員 ・公園が完成した当時は子どもたちが集まって遊んでいた。今では石垣が崩れたり橋が壊れて通れなかったりして、公園という名前だけで機能していない。本来の親水公園の姿に戻すには、億のお金がかかるだろう。
- 委員 ・社協のボランティア清掃の方からは、手洗いの水道はあるが使えるようになっていないので、みんな家に帰って手を洗う、という話を聞く。
- 委員 ・最近になって蛇口を付けてもらったところ、流れた水で足が濡れるため流し（台）も付けてもらった。徐々に整備してもらってはいる。
- 委員 ・それは知らなかった。
- 委員 ・せっかく造った公園だから、途中で投げないで維持管理をしっかりやってもらいたい。正直言って300万円じゃできないから、市に陳情することも考える。
- 委員 ・実際にボランティアしている方から、草刈だけでも5、6人で1週間はかかるだろう、費用も40から50万円かかるのではないかと聞いた。
- 委員 ・大宮地区連合会で声かけをして、大勢でやればそんなにかからない。いろんな知恵を出して、元の公園に近付けるように努力する他ない。
- 委員 ・草刈のボランティアなどを大宮地区で考えないといけない。
- 委員 ・平川の隣にあったコークスという所を、平川自治会で清掃してグラウンドにしたことがある。大宮地区で呼びかければ、できることはかなりあると思う。予算が少ないのだから、いろんな角度から考えていきたい。
- 委員 ・トイレの設置について公園緑地課に行って話を聞いたところ、設置されたトイレは誰が管理するのかと聞かれた。市で管理するトイレは、シルバー人材センターなどに清掃やトイレトペーパーの補充を2週間に1回くらい頼んでいるところもあるので、それと同じようにしてもらいたいと伝えたが、そういうことはできないと言われた。
- 委員 ・担当課に話すだけでなく、議会で予算をつける方がよい。やはり市に陳情すべきだ。県議に相談するという方法もある。
- 委員 ・公園整備には時間もお金もかかることになると思う。市に動いてもらうためにも、この公園で地元と市の共催でイベントをやって、地元の意気込みを見せて、その後に陳情した方が効果はあるのではないかと。限られた地域予算はそういうところにあてるべきではないか。イベントの前にはボランティアによる掃除も必要になる。
- 委員 ・いずれにしても、今回の地域予算をこの公園整備にすると決めてもらえないと話が

進まない。

委員 ・ちょうど夏を迎えた時季だし、この1、2か月で清掃すれば水に親しむのに適している。

委員 ・この公園整備に決まれば金策が要るので、協力していただきたい。

委員 ・国府地区の人の多くはこの公園を知らないと思うので、宣伝も必要だ。

委員 ・公園が立派になった、と宣伝していきたい。

委員 ・この公園の由来を言うと、沼の真ん中の島のような所にあったお稲荷さんみたくのを沼の外に寄せた。その下流の長瀬は、昔は湧き水がきれいでハヤが泳いでいた。酒造の水にも使っていたが、今は全く水が無い。清掃してイベントでもやって、皆さんに納得してもらおうのがよい。

委員 ・話に水を注すようで申し訳ないが、なぜ水を出さなくなったかと言えば、湧き水が出なくなったので電気でポンプ（揚水）して水が流れるようにしていたところ、地域の人が魚を入れた。その後コイヘルペスが流行り、死んだ魚のにおいの苦情が地元から出て、水を抜いたという経緯がある。この教訓からも、多額の経費をかけて再び水を流すのはいかなものか。昔のイメージで進めるのではなく、遊具の設置などがよいのではないか。

委員 ・今回の地域予算をこの公園整備で使わせてもらえるかどうかを決めないと時間ばかりかかってしまう。

議長 ・今回の提案事業は丸沼・長瀬公園の整備として、公園緑地課と相談しながら、予算内で元の公園の形に近付けていくということによろしいか。

委員 ・駐車場はあるのか。

委員 ・ない。

委員 ・公園が整備されたら、近くの空いている農地を借りるなどして駐車場としたい。

委員 ・噴水のように水を出すようにしてはどうか。

委員 ・この公園の整備事業に決まれば、そういう知恵をお借りしたい。

委員 ・橋を修理して、残りを揚水の電気代にあてる方向で進めたい。例えば、2か月だけ揚水して電気代がどのくらいか、そこまでやってみたい。

委員 ・この辺りの水脈について分かる企業から情報をもらえるとよい。

委員 ・昔は生活雑排水が臭くて陳情があった。県議が動いてくれたこともあるようだ。今はどこでも地下水が下がって出ない。

議長 ・今回は、丸沼・長瀬公園整備事業として、橋を修理し、残りの予算で1か月でも2か月でも水を流すということにしたい。

委員 ・キャッチフレーズとして「荒園（こうえん）を公園に」はいかがか。

委員 ・大宮地区の会議でも、どんどんそういう知恵を出して欲しい。

(2) その他（無し）

4 その他

委員 ・東陽中学校創立50周年寄付金について、集まる期待が持てそうになってきた。御礼を申し上げるとともに、引き続きご協力をお願いしたい。

（ 寄付金の集め方について、改善方法などの話があった。 ）

- 委員 ・国庁跡はイベントか何かで使っていいものなのか、駄目なのか。
- 委員 ・地域予算で農村広場に常設舞台を作ったのだからイベントを増やしても良い、と文化課職員は話していた。
- 委員 ・岩船山のコンサートのような音楽イベント、何とかフェスティバルなどを国庁跡という神聖な場所でやっていいものなのかどうかを知りたい。
- 委員 ・文化課は、地域でやることを望んでいるので、地域も加われば開催してよいのではないか。
- 委員 ・農村広場の方ならば大丈夫ではないか。
- 委員 ・舞台のある方でやる分にはよいのではないか。国庁跡はあまり入るのは好ましくない。
- 委員 ・国庁跡の方に舞台や観客席を作っていいとはならないだろう。仮設トイレの杭を打つのもダメと言われた。
- 委員 ・農村広場が会場になると、他に駐車場が必要になる。どこか借りられるとよいが。
- 委員 ・国庁まつりで駐車場として借りる土地は、冬は麦を作っていないので空いているが、夏は田んぼとして使うから空いていない。
- 委員 ・舞台の方でイベントをするのは問題ないということで理解した。
- 委員 ・いろんな団体がイベントをどんどんやって、国庁跡をPRするとよい。
- 委員 ・舞台の屋根や照明・音響も要るとなってくる。大平はイベント「なつこい」があって、みんなが集まり易い。東部地域も何かあるとよい。
- 委員 ・前回の国庁まつりでは、(常設舞台の完成を祝して)「とちおとめ25」を呼んだところ、その応援隊が20人くらい来てくれた。こういうことをすれば若い人も興味を持って参加してくれる。
- 委員 ・知名度が上がるから良い。
- 委員 ・近隣の住民からの苦情が来るのではないか。
- 委員 ・理解してもらえない。
- 委員 ・ひたちなか海浜公園で行なわれる野外ライブは、入場料5,000円で13万人が集まる。3日間で1年分を売り上げるらしい。
- 所長 ・次回会議は7月25日(水)午後7時から国府公民館で開催する。

以上